公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス　あおば			
○保護者評価実施期間	2026年　10月　1日	～	2026年　10月　23日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	21	（回答者数）	18
○従業者評価実施期間	2026年　10月　1日	～	2026年　10月　23日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	10	（回答者数）	9
○事業者向け自己評価表作成日	2024年　10月　26日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	外出活動が多い	その日の利用児童によって遊ぶ公園や散歩する場所を変えている	安全を確保できる公園を探して利用する 長期休みの時は少し遠出していつもと違う経験(工場見学など）ができるようにする

2	指標児童の受け入れをしている	指標児童の子の特性にあわせて活動ができるようにしている 職員の配置、声掛けを常に意識して対応している	突発的な行動を起こした時はマンツーで児童につき、 落ち着ける別の場所に移動する
3	関係機関との連携	児童の行動で気になることがある時は自分たちだけで判断するのではなく、関係機関にも相談し意見を求めている	関係機関からもらったアドバイスを参考にし支援にいかすようにする

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	療育室が狭い	児童が成長し、体が大きくなったこと 指標児童の割合が多く、動きが激しいこと	療育室を広く使えるよう棚を最低限にする 大きなおもちゃは使いたい時に別室から持ってくる 移転も検討中
2	児童の年齢の幅が広い	年齢の幅があるため活動内容や遊び方が全員にあわず、 物足りなさを感じることがある	児童にあった活動ができるよう、何パターンかを用意し選択させる

3	専門知識をもった指導員がいない	理学療法士、作業療法士、精神福祉士などをもった指導員が在籍していないため児童の気になった行動の要因がすぐに解決できない	関係機関との連携をはかり、相談ができアドバイスが受けられる関係を築く